

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年2月28日  
北海道運輸局

評価対象事業名: 令和元年度(平成31年度)地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助1

| 協議会名             | ①補助対象事業者等 | ②事業概要   | 協議会における事業評価結果  |                   |                |  | 地方運輸局における<br>二次評価結果  | 備考 |
|------------------|-----------|---|--|-------------------|----------------|--|--|----|
|                  |           |   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   | 評価結果   |    |
| ニセコ町地域公共交通活性化協議会 | ニセコバス株式会社 | 運行系統名:ニセコ町全域<br>町内全域を運行区域とするデマンド型運行<br>・運賃1乗降200円<br>・ドア・ツー・ドアサービスでの運行<br>・午前8時から午後7時まで毎日運行(平日のみ、午前7時台に一部地域からの路線を運行)<br>・車両及び台数 ワンボックスタイプ(10人乗り) 2台 | 町民対象としたまちづくり懇談会でのデマンドバスの説明、町ホームページによる周知、事業者バス時刻表、デマンドバスパンフレットや観光情報誌へ掲載、町内コミュニティFM放送での運行情報提供等による広報活動を行った。 | A                 | B              | 現在、車両数は、運行当初からの2台体制を維持している。しかし、冬季間の乗車希望に対し、所要時間の増等の影響もあり、十分応えきれていない状況。予約時において、乗り合い運行を奨励する運用改善引き続き進めている。現在、地方創生事業を活用し、町の交通体系見直しに向けた調査を進めており、その中で課題と解決方法を見出すこととしている。その一環として、混雑するスキー利用によって予約が取りにくい状況を解消するため、H29年12月より市街地とスキー場を結ぶスキーバスを定時運行することで、デマンドバス利用にどのような影響がでるか検証したところ、運行期間のお断り件数の減少や利用者の増加への影響もでている。引き続き、R1.12からも検証運行を行う。また、H31.11には公共交通の全般的な利用の情報も掲載したりリニューアルパンフレットの全戸配布を行い、利用者増の取り組みを行っている。今後も交通弱者を救うために安全な運行体制の確立を図りつつも、運行経費の削減と利用者数の増による収入確保と収支比率の向上に向け取組みを進める。具体的には、引き続き、乗り合い運行数の増、乗合率及び利用者数を高める取組みを進めるなど、適宜改善を図るとともに、ニセコ町公共交通の最適化を図る。 | ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。<br>・目標に設定した利用者数、月平均運賃収入及び収支比率のいずれも達成できなかったことから、現在進めている交通体系見直しに向けた調査の結果を参考にその要因を適切に分析し利用促進策が図られることを期待する。<br>・また、利用者数は横ばいにも関わらず、運行回数が増加しているため、より効率的な運行方法の検討を期待する。 |    |